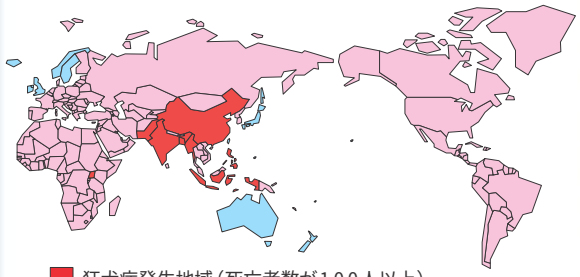
狂犬病って
どういう病気？

狂犬病の発生状況



狂犬病発生地域（死亡者数が100人以上）
狂犬病発生地域（死亡者数が100人未満）
厚生労働大臣が指定する狂犬病清浄地域

（厚生労働省 2004年）

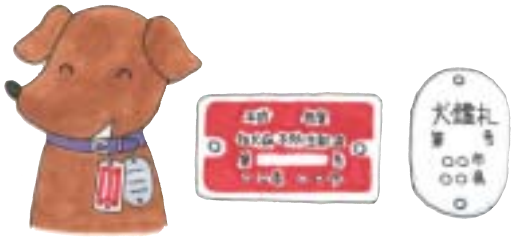
狂犬病が発生している国

狂犬病は、世界中のほとんどの国と地域に発生しています。わが国は、数少ない狂犬病清浄国のひとつです。

狂犬病ウイルスは、狂犬病に感染した動物の唾液中に含まれ、動物に咬まれて感染します。この病気は、ほとんどすべての哺乳動物に感染し、発症すれば、100%死亡する病気です。海外では現在でも多くの国々で狂犬病が流行し、年間5万人もの人々が尊い命を落としています。国内では、平成18年11月、海外渡航からの帰国者2名が発症し、死亡する事例がありました。また、海外には、コウモリに咬まれて感染する狂犬病類似の病気（リッサウイルス感染症）もあります。
狂犬病ともども将来、わが国に侵入する可能性が十分考えられ、「感染症法」でもとりあげられている病気です。

「狂犬病予防法」ってどういう法律？

狂犬病の発生を予防し、まん延を防ぎ、撲滅することにより公衆衛生の向上及び福祉の増進を目的として制定された法律です。狂犬病ワクチンをイヌに接種することは、あなたの愛犬を狂犬病から守るばかりでなく、社会全体を狂犬病の恐怖から守ることになるのです。



交付された鑑札と注射済票は犬の首輪などにつけておきましょう。

狂犬病発生国へ渡航する方へ

子犬や野生動物をさわったり、手から直接えさを与えたりしないように注意しましょう。感染が心配なかたは、事前のワクチン接種をお勧めします。

狂犬病の情報は？

「狂犬病」についてわからないことは、もよりの「動物病院」または「保健所」におたずねください。また、下記のHPでも情報を得ることができます。

- ●厚生労働省　http://www.mhlw.go.jp/
- ●厚生労働省検疫所　http://www.forth.go.jp/
- ●国立感染研感染症情報センター
  http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
- ●東京都衛生局
  http://www.kenkou.metro.tokyo/eisei/d_dokuho/kyouken0.html

2008年 改訂
日本小動物獣医師会
人獣共通感染症委員会編
http://www.jsava.com/

掲載記事・イラストの無断転載を禁じます

人と動物の共通感染症シリーズ
Vol.1

狂 犬 病

JSAVA
日本小動物獣医師会

狂犬病に感染すると・・・

動物の場合

感染

感染する動物は？

ほとんどすべての哺乳動物に感染します。

症状

イヌの場合

目的もなく動き回ったり、吠えたりするようになります。次いで、目に入るものはなんでも咬みつくようになります。また、喉が麻痺するために食べ物や水を飲み込めなくなることもあります。そして、立ち上がって歩くことも困難となり、やがて昏睡状態となり死亡します。また、攻撃的にならず、麻痺症状のみの場合もあるのでおとなしそうな子イヌでも注意が必要です。

診断

生前に確定診断することは難しく、動物の死後、病理解剖して脳の中のウイルスを調べます。

治療

発病した狂犬病動物には、有効な治療法がありません。

ヒトの場合

症状

咬傷事故から1～3ヵ月の潜伏期のあとに発熱、食欲不振などの風邪様症状にはじまり、やがて風が不快となる症状（恐風症状）や、飲水が不可能となる症状（恐水症状）など、さまざまな神経症状をおこし、やがて死に至ります。

診断

皮膚、角膜、唾液、脳脊髄液などからウイルスを調べます。

治療

狂犬病発生地域で動物に咬まれたらただちに現地医療機関で暴露後ワクチン接種（ヒトの予防参照）を行います。発症すると有効な治療法はありません。

狂犬病からあなたを守るために

狂犬病は、ヒトも動物も
ワクチンで予防することができます。

1. 動物の予防方法は？

イヌの飼い主は、「狂犬病予防法」により生後90日を越えたイヌに対して年1回のワクチン接種が義務付けられています。わが国が狂犬病清浄国でありつづけるために、毎年忘れず接種しましょう。

2. ヒトの予防方法は？

❶ 咬まれる前のワクチン（暴露前免疫）

ワクチンを3回接種します。

❷ 咬まれた後のワクチン（暴露後免疫）

まず、傷口を流水と石鹸で十分に洗浄します。さらに、医療機関でワクチンを5～6回接種します。